

感染研発第499号
平成30年 9月27日

各関係大学長
各関係大学学部長 殿
各関係機関の長

国立感染症研究所長
(公印省略)

昆虫医科学部長の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、当所では昆虫医科学部長の選考を行うことになりました。

昆虫医科学部においては、人体に対して有害な昆虫類、ダニ類その他の動物（寄生性の原虫、線虫、吸虫及び条虫類を除く。）に起因する疾病に関し、次に掲げる業務を行っております。

- ・病原及び病因の検索並びに予防及び治療の方法の研究（これらに関するレファレンス業務を含む。）及び講習
- ・予防、治療及び診断に関する殺虫剤及び殺そ剤の生物学的検査及び試験的製造並びにこれらの医薬品及び医薬部外品の生物学的検査に必要な標準品の製造並びにこれらに必要な科学的調査及び研究

つきましてはご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、関係者各位に周知いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい願います。

記

1. 候補者資格条件

- ① ヒトに感染症を引き起こす病原体を媒介する昆虫類、ダニ類等に関わる研究実績を有すること。
- ② 昆虫等に由来する感染症のコントロール及びレファレンス業務に意欲を有すること。
- ③ 殺虫剤及び殺そ剤に関する研究・検査に意欲を有すること。
- ④ 部をまとめる統率力を有し、国際協力に対応する能力を有すること。
- ⑤ 学位（博士号）を有すること。

2. 提出書類

- ① 履歴書（A4縦版横書き、氏名、性別、生年月日、本籍（都道府県名）、現住所、学歴（高等学校卒業以降）、学位、職歴、1カ月以上の海外歴とその内容、所属学会名、学会等での役職名、国内外の委員歴、賞罰、健康状況等）
- ② 業績目録（A4縦版横書き、別紙様式をご参考下さい。）
※ corresponding author（責任著書）の論文には、必ず各題名の書き出しに（責）と記入してください。
- ③ 主要論文の別刷（写し可）10編以内
- ④ 主要研究概要（A4縦版横書き1枚程度）
- ⑤ 応募職への抱負（A4縦版横書き1枚程度）

3. 応募締切日

平成30年10月31日（水）必着

4. 選考スケジュール

(1) 第1次審査（書類選考） 平成30年11月中旬（予定）

(2) 第2次審査（面接選考） 平成30年12月21日（予定）

※第1次審査（書類選考）を通過された方には、第2次審査（面接選考）に関する連絡を致します。

5. 採用予定日

平成31年4月1日（予定）

6. 処遇

「一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）」等に基づく。

7. 勤務地 国立感染症研究所 戸山庁舎 東京都新宿区戸山1-23-1

8. 書類提出先

郵便番号162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1

国立感染症研究所 所長 脇田 隆宇

※ 応募書類の封筒に、「昆虫医科学部長 応募」と朱書きの上、所長あて親展として書留にて郵送して下さい。

応募書類は、本公募の用途に限り使用し、頂いた個人情報は適正な理由なく第三者へ開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

なお、提出された書類は返送致しませんのでご了承ください。

9. 問い合わせ先

国立感染症研究所 総務部総務課人事係 安藤・亀田

電話：03-5285-1111（代表）内線2024

03-4582-2624（直通）

E-mail：[jinji@nih.go.jp](mailto:jinja@nih.go.jp)

10. 国立感染症研究所ホームページ URL

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/>

業績目録

氏名 _____

1. 著書

2. 学術論文(学会誌発表等)

(1) 欧文

(2) 邦文

3. 学会発表(講演・発表等)

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

(記入上の注意事項(共通))

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名(発表雑誌名)の順で記載し、それぞれを改行すること。
2. 年代の新しいものから順に記載すること。
3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
(例: Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002)
4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に()書で和訳を記載すること。
5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。(単独は(単)、筆頭は(筆)、その他は(他))
※コレスポンディングオーサー(責任著者)の論文には、必ず各題名の書き出しに(責)と記入すること。
6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

(参考例)

1. 著書

- ①労働太郎、厚生太郎
(他炎症の組織病態
〇〇社, PP.67-87, 1989

2. 学術論文

(1) 欧文

- ①Taro kousei, Jiro Kousei, Saburou Kousei, Tarou Roudou, Jiro Roudou, Saburou Roudou
(筆)An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in USA, 2002
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2002年アメリカ)
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

- ①厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
(筆)An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2004大阪)
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

- ①厚生太郎
(単)ラット皮下腫瘍の消長と〇〇〇の相互関係について
第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

- ①厚生労働科学研究費補助金、(課題名)〇〇〇〇〇〇
期間:平成〇〇年~平成△△年、金額〇〇〇円/年
- ②科学研究費補助金、(課題名)□□□□□□
期間:平成〇〇年~平成△△年、金額〇〇〇円/年